

今年度新たに実施する施策・事業

1 学生が学ぶ環境の充実

- 推進施策(1)－①「学生の安心・安全に対する意識を高めるための啓発」

⇒ **安心・安全な学生生活を送るためのハンドブック（仮称）の制作**

京都で学ぶ学生が、災害時の対応や犯罪などに巻き込まれないための知識を身に付けることができるよう、防災・防犯などに関する注意点や消費生活におけるトラブル防止、薬物乱用防止など、安心・安全に関する幅広い情報を掲載したハンドブックを、京都府警察などの関係機関と連携して作成する。

作成したハンドブックは、各大学に配布するとともに、インターネットを通じて周知し、学生向けの啓発などに活用してもらうことにより、学生の防災・防犯等への意識の向上を図る。

2 大学・学生の国際化の促進

- リーディング施策(1)「留学生誘致に向けた海外への広報」

⇒ **留学生誘致に向けた「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信**

世界中の若者に京都を身近に感じていただくとともに、「京都の大学で学びたい」、「京都で学生生活を送りたい」という思いを持っていただくことで、京都の大学への留学につなげるため、京都で学ぶ留学生ならではの視点を取り入れ、京都での学生生活、京都の大学、まちの魅力を伝えるプロモーション映像を制作する。

- リーディング施策(2)「大学のまち京都の魅力を体感できる

短期留学受入の実施」

⇒ **「大学のまち京都」の魅力を体感できる短期留学受入事業**

日本への留学に関心のある海外の学生に、実際に、京都へお越しいただき、京都の奥深い魅力を知ってもらうことで、京都の大学への留学につなげるため、多様な大学が集積する京都の強みを活かした特色ある講義と京都体験（伝統文化、伝統産業、先端産業など）を組み合わせた2週間程度の受入プログラムを京都市と大学コンソーシアム京都の協働により開発し、27年度に海外から学生を受け入れる。

- ・ 推進施策(2)－②「留学生向け住宅の提供支援」

⇒ **京都市空き家の活用・流通支援等補助金**

空き家の活用や流通を促進するため、改修工事や家財の撤去にかかる費用の一部を補助（上限 30 万円＜京町家 60 万円＞）。※ 留学生の住まいなど、特定の目的で活用する場合は上限 60 万円（京町家 90 万円）。

3 学生の進路・社会進出の支援

- ・ リーディング施策(1)「京都企業と連携した人財育成」

⇒ **京都企業と連携した次代の京都を担う人財育成事業**

大学や国籍の枠を越えた留学生を含む学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った「グローカル人財」として育成するとともに、学生と京都の企業がお互いを知る機会を創出するため、学生のチームが、京都企業と連携したプロジェクト（企業の提示する課題の解決、学生から企業への提案など）に取り組む。

4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

- ・ 推進施策(3)－①「地域の問題解決につながる都市政策研究の推進」

⇒ **未来の京都創造研究事業における大学都市政策課題の追加**

「大学のまち京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、若手研究者などの発掘・育成とネットワーク形成を図る「未来の京都創造研究事業」の指定課題において、大学都市政策に関する課題を追加。

26年度は、「外国人留学生の大学卒業後の就業に関する動向の分析と自治体、企業及び大学における支援方策に関する研究」を実施。

6 プロモーション戦略の強化

- ・ リーディング施策(1)「学生の力を活用した国内外への情報発信」

⇒ **京都B&Sプロジェクト**

全国から訪れる修学旅行生や関西圏からの校外学習生に対し、京都で学ぶ大学生がガイド役となり、兄弟、姉妹（Brother&Sister）のように交流しながら、大学キャンパスや観光地を散策・観光する事業を、京都市・大学コンソーシアム京都・JTB西日本京都支店が共同実施。